

瀋陽駐在員事務所

メルケル首相が瀋陽にやってきた！

6月14日、ドイツのメルケル首相が瀋陽を訪れました。瀋陽市内のメインストリートの両側には中国とドイツの国旗が飾られ歓迎一色、また、周辺の道路は朝から封鎖され、通りに面したビルに入居する企業関係者も禁足されるなど警戒も厳重でした。メルケル首相は瀋陽故宮や中国工業博物館などの旧跡とBMW ブリリアンス鉄西工場を視察、BMW の新型ハイブリッドSUVモデルのライン稼働開始式典にも立ち会いました。



メルケル首相の来瀋を報じた地元紙

何故、ドイツの首相が訪中時に瀋陽へわざわざ立ち寄り、中国側も李克強首相が随行するなど破格の気遣いをするのか、それはこの地域の産業構造とBMWを初めとするドイツ企業の存在感にあります。

BMWと中国側自動車メーカー華晨汽車との合併企業「中晨宝馬汽车有限公司」の2014年単年の納税額は153億6,913万元（日本円約2,766億円）、2位の企業（これもドイツ系の合併企業ですが）の約3倍以上と圧倒的な存在感を誇ります。中国の実効法人税率は約25%ですので、単純計算すると年間売上がこの合併企業だけで1兆円を超える計算になります。まさに「ドイツの機嫌を損ねると都市自体が存続しえない」とも言える状況ですので、こうした「気遣い」もうなずける気がします。

南 敏律

ユジノサハリンスク駐在員事務所

大学卒業を目指す国家試験

ロシアの大学の卒業時期は7月です。卒業するためには、国家試験と卒論発表会を乗り越えなければなりません。国家試験は専攻科目の試験であり、卒論発表会は研究結果のプレゼンです。どちらも教員が試験官となり、学生の発表を評価します。



私が卒業したサハリン総合大学では、本年から試験官に教員以外の日本語専門家を加えることが必要となり、光栄にも私とその試験官に選ばれました。日本語の国家試験は、東洋学専攻の学生8人が受験しました。設問は3つで、日本語の文法理論・語彙、文章の露和翻訳、各テーマの発表でした。はロシア語、とは日本語で答えます。試験開始の際、問題用紙を受け取り1時間で準備をします。その用紙には設問テーマ（経済・文化・コミュニケーション等）が記載しており、各々内容が異なります。試験問題を見るまでテーマが分からないのは、それまで蓄積した知識を披露するチャンスである一方、大きなプレッシャーにもなります。



私も自分の卒業時期のことを思い出しました。学生達と話し、大学の雰囲気久しぶりに触れ合うのはとても楽しかったです。この経験をこれからも大事にします。

マリア・ヤロヴェンコ

ウラジオストク駐在員事務所

サハ共和国の夏至祭りについて

5月28日、ウラジオストク郊外ではサハ共和国政府主催の夏至祭りが行われました。この祭りは起源が古代に遡るほど長い歴史を持つヤクート民族の伝統的な祭りであり、ここ数年、ロシア各地や独立国家共同体では積極的に開催されています。サハ共和国や現地のヤクート人の合唱団や舞踊団が民族衣装でパフォーマンスすることでも有名であり、また、発酵乳やパンを焚火に入れ、天界の神や精霊に供物として贈る儀式は圧巻のパフォーマンスです。

本来、ヤクート民族は多神教が多く、天界の神に供物の形で敬意を表しながら、幽界の神を抑止しようとする儀式も昔から引き継がれていて、この点は沿海地方やハバロフスク地方の先住民に良く似ていると言えます。ロシア極東地域以外で行われる夏至祭りは、現地のヤクート人が比較的少なく、大半の参加者はスラブ系の民族です。一方、ウラジオストクの夏至祭りはヤクート人が圧倒的に多く、理由としては、サハ共和国政府が現地で駐在員事務所を構えるほか、極東連邦大学に入学しているヤクート人学生が約400人、ウラジオストク軍港を拠点とする太平洋艦隊に徴兵されているヤクート人が約500人と多いからです。



イワン・モズゴヴォイ

日中経済協会 北京事務所 札幌経済交流室

検索結果にご用心

先月、中国で同国最大の検索エンジンを提供する「百度」の時価総額が、10日間で約87億ドル減少するという事象が発生しました。この事象は「魏則西事件」と呼ばれましたが、その事件の詳細についてご紹介します。

滑膜肉腫という癌にかかった大学生の魏則西さんはいくつもの病院で治療を受けましたが効果はなく、かすかな望みをかけて百度で情報を探していたところ、北京にある武警第二病院で画期的な治療法があるとの情報を発見しました。

魏則西さんはこの画期的な治療法に最後の望みを賭け、親戚や知人から20万元(340万円)を集めて治療を受けました。しかし、実はその治療法は過去に欧米で効果なしと否定されたもので、魏則西さんは4月12日に死亡しました。ところが、このあとに批判の的となってしまったのは病院ではなく、百度です。百度で滑膜肉腫の病院を検索すると必ず武警第二病院がトップに表示され、「腫瘍生物免疫療法」が出てきます。つまり、百度は広告費を貰い検索順位を上げ、武警第二病院は免疫療法に効果がないのを最初から知っていた上で効果があると宣伝していました。

中国ではインターネット上の情報は「嘘が多い」という意識が日本より強く、本来非難されるはずのない第三者(情報の仲介者)に怒りの矛先が向かってしまったようです。



百度の検索エンジンサイト

小笠原 宅麻

北海道 ASEAN 事務所(シンガポール)

北海道 ASEAN 事務所の観光客誘客活動

2016年1月14日、シンガポールに開設した北海道 ASEAN 事務所では、北海道の食の輸出拡大、北海道への観光客誘客、道内への投資促進をテーマに活動しています。

今回は活動テーマの一つである、観光客誘客に対する当事務所の活動の一部をご紹介します。

日本政策投資銀行が平成27年7月にアジア8地域で実施したアンケートによれば、シンガポール人の半数が北海道へ旅行したいと答えており、北海道の人気の高さが感じられ、このアンケート結果を裏付けるかのように、当事務所には、月間50人を超すシンガポール人が、北海道の観光情報を求めてやってきます。初めて北海道旅行をする方はもちろん、複数回北海道へ旅行しているリピーターもいらっしゃいます。

質問の内容も多岐にわたっており、具体的な名所を挙げ、どの交通機関で行くのが便利か、といった質問があったかと思えば、来週から北海道に行くがどこがおすすめか、といった大雑把な質問が飛び出すこともあります。

日々こういった方と接する機会もあり、団体旅行ではない個人旅行での来道者が増えてきていることを実感しています。彼らがリピーターになってくれること、周囲へ北海道の良さを広めてもらえることを願い、今後も北海道への観光客誘客につながる活動を続けていきます。



津川 剛史